

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-536170 (P2004-536170A)

【公表日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2004-047

【出願番号】特願 2002-589490 (P2002-589490)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 G 77/16

【F I】

C 0 8 G 77/16

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 19 日 (2005.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の段階 a) 及び b) を含んでなる線状シラノール停止シロキサン<sup>1</sup>の製造方法。

a) 次式のヘキサオルガノシクロトリシロキサンの開環重合を、触媒量の強塩基の存在下、水と揮発性極性非プロトン性有機溶媒との混合物を含む溶媒中で実施する段階、



(式中、 $R^1$  及び  $R^2$  は独立に炭素原子数 1 ~ 40 の一価基からなる群から選択される。)

b) 上記触媒量の強塩基を、多塩基酸の部分的に中和した塩で中和して、pH 範囲を約 6 ~ 約 8 とする段階。

【請求項 2】

さらに、前記揮発性極性非プロトン性有機溶媒を除去する段階を含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記揮発性極性非プロトン性溶媒が低分子量ケトンである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記低分子量ケトンがアセトンである、請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

前記多塩基酸の部分的に中和した塩がアルカリ金属塩である、請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記多塩基酸の部分的に中和した塩がカリウム塩である、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記多塩基酸の部分的に中和した塩がナトリウム塩である、請求項 5 記載の方法。

【請求項 8】

$R^1$  がメチルである、請求項 6 又は請求項 7 記載の方法。

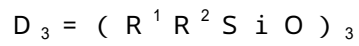
【請求項 9】

$R^1$  が 3, 3, 3 - トリフルオロプロピルである、請求項 5 記載の方法。

【請求項 10】

以下の段階 a) 及び b) から実質的になる線状シラノール停止シロキサンの製造方法。

a) 次式のヘキサオルガノシクロトリシロキサンの開環重合を、触媒量の強塩基の存在下、水と揮発性極性非プロトン性有機溶媒との混合物を含む溶媒中で実施する段階、



(式中、 $R^1$ 及び $R^2$ は独立に炭素原子数1～40の一価基からなる群から選択される。)

b) 上記触媒量の強塩基を、多塩基酸の部分的に中和した塩で中和して、pH範囲を約6～約8とする段階。